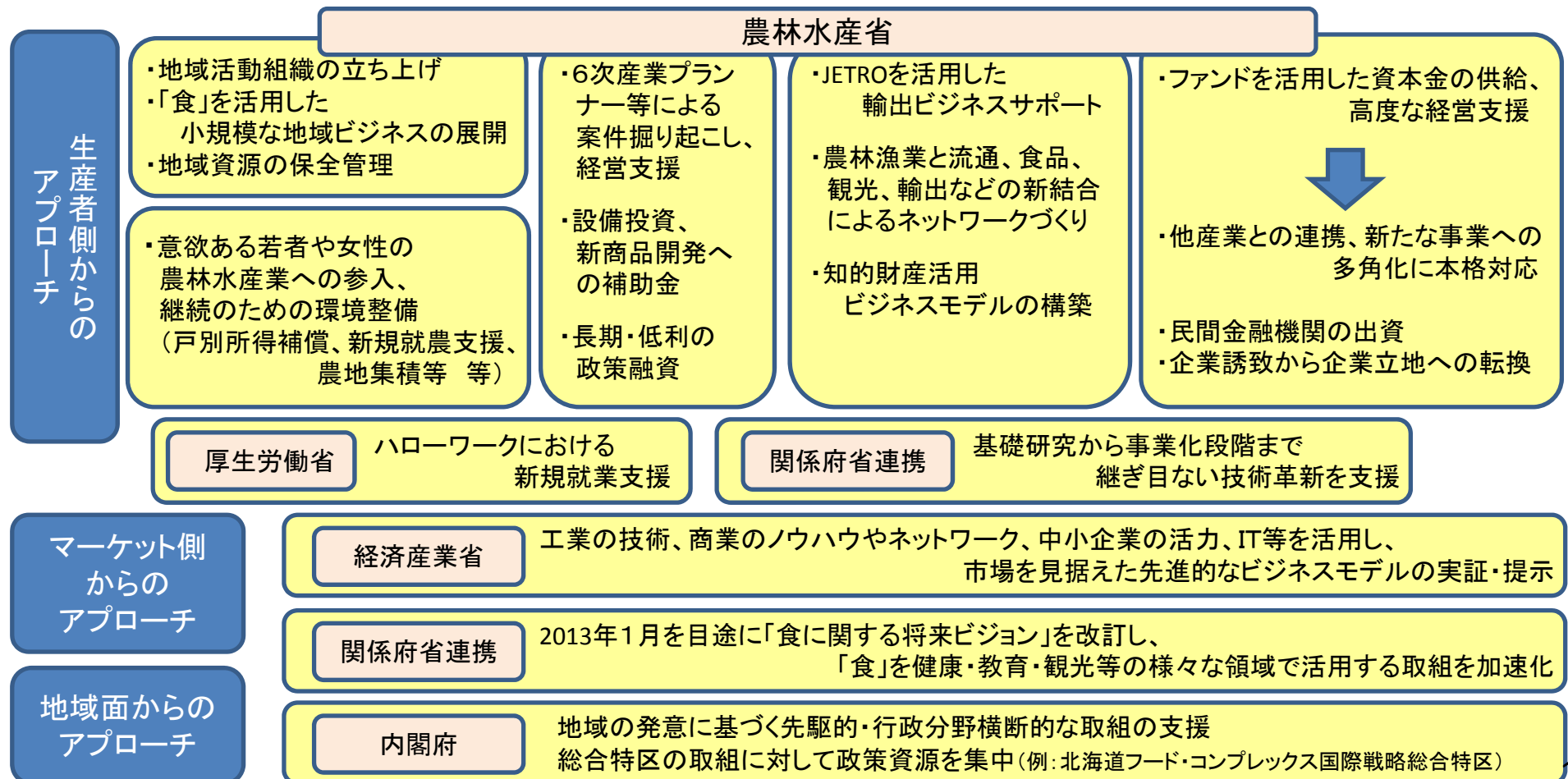
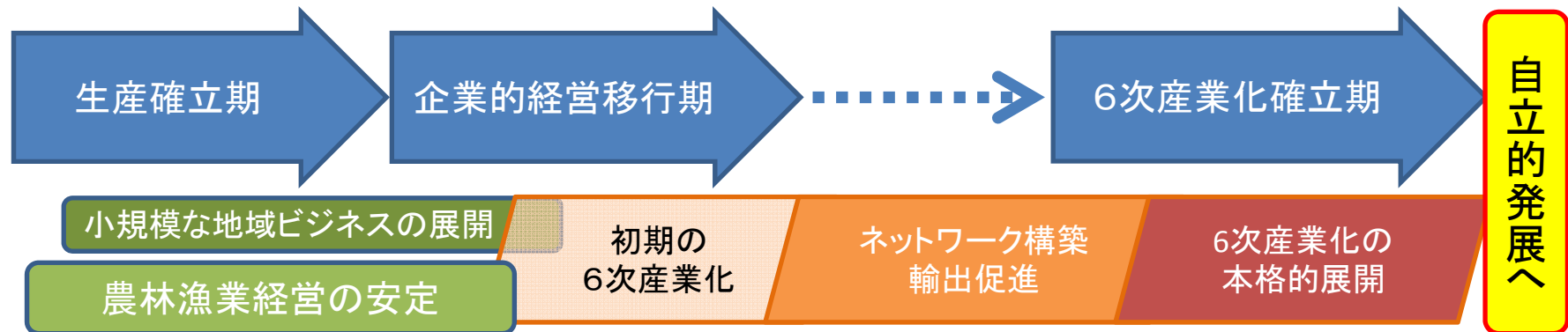


農林漁業(6次産業化)分野

平成24年11月
国家戦略室

農林漁業の6次産業化：経営発展の段階に応じた取組方針



農林漁業の再生、6次産業化：多様な取組事例

農林漁業経営の安定

<農事組合法人 酒人ふぁ～む(滋賀県)>

- 高齢化・後継者不足が深刻化する中、集落1農場方式による水田営農を実現。年齢、作業能力等に応じて役割分担。
- 水稻・小麦・大豆の基幹作業は、青年・壮年男性が大型機械を利用して効率的に作業を実施。
手間のかかるハウス野菜は、意欲のある女性・高齢者が担当。
露地野菜、水管理、草取り等は65歳以上の高齢者が担当。



ネットワーク構築、輸出促進

<JA帯広かわにし(北海道)>

- 地域7農協の連携により、長いもの年間安定供給体制を構築。
- 輸出専用段ボールの開発、HACCP認証の取得。
- 輸出による大口需要先の確保により、作付面積・生産量ともに増加。輸出額約4.4億円(H21年度)。



小規模な地域ビジネスの展開

<JA根上加工部会(石川県)>

- 「孫がご飯を食べない」との相談を契機に、平たくまとめたご飯を焼いて、総菜(きんぴら、豚肉の甘露煮など)を挟んだ「ごはんぱーが」を開発、平成17年から販売。
- 全国への冷凍発送、県庁売店での販売など積極的に販路開拓。
販売量2,000個/月(H17) → 5,800個/月(H20)



6次産業化の本格的展開

<農事組合法人「伊賀の里もくもく手作りファーム(三重県)>

- 昭和62年設立。
- 米・野菜等の生産、ウィンナー・ハム等加工品製造、直売施設、ソーセージ手作り体験教室、レストランを含む交流型農業公園
- 名古屋市等県内外でのレストラン経営(6店舗)、インターネットによる農産物等の直接販売。
- 従業員数280名、来客数50万人、売上額47億円(H21年度)



農林漁業(6次産業化)の各省関連施策と予算要求イメージ

特別重点要求額
合計1,330億円

＝特別重点要求

生産確立フェーズ

企業的経営移行フェーズ

6次産業化確立フェーズ

生産者側からのアプローチ

新規就農総合支援事業 349億円

人・農地プラン作成事業等 20億円
戸別所得補償制度 所要額:6,901億円
農地集積協力金 65億円

(新規就業支援につき
厚生労働省と連携)

雇用確保に資する生産資源の継承・整備 182億円

農村地域力発揮総合対策 214億円

「緑の新規就業」総合支援事業 33億円

森林管理・環境保全直接支払制度 428億円

森林・山村資源利用交付金 27億円

新規漁業就業者総合支援事業 12億円

資源管理・漁業所得補償対策 374億円

水産多面的機能発揮対策 30億円

6次産業化の新展開 87億円

輸出総合サポートプロジェクト14億円
日本の食文化の海外発信 38億円

(輸出促進につき
外務省等と連携)

輸出対応型生産・出荷体制
強化交付金 30億円

木造公共建築物
整備支援 58億円
地域材活用促進
支援事業 55億円

水産業グローバル化
総合対策 152億円

株式会社農林漁業
成長産業化支援機構
による
資本の提供等

250億円(産投出資)
100億円(産投貸付)

農林水産省

マーケット側
からの
アプローチ

農業成長産業化実証事業 20億円

戦略的基盤技術高度化
支援事業(農林漁業分野)
2億円(研究開発等)

“ちいさな企業”未
来補助金(農林漁
業分野) 10億円

新事業活動促進支援
補助金(農林漁業分野)
13.5億円

経済産業省

地域面
からの
アプローチ

内閣府

特定地域再生計画の推進(農林漁業分野) 5億円

各府省予算の重点配分及び総合特区推進調整費(151億円の内数)